



抄略時々此の今所響を
十二分：頂戴侍上澤山
四臨藏書画拜見とる有る
高話承りし誠：近き
大快事！も厚ら程を
就中：指古或佛法云々況
中々々々々々々々々々
そきかやまと錦
おりそや佛のこけ
中々々々々々々々
名心古畫楊柳親善の園と
はたす！おまの岩の
下々は水のちきり
さささささ
意雲和当のことふさ
りのあさける光は



下は水のちきり
まじりし

意雲和当のことぶさる

りのあきける光は
のれー、ミダレの雲の
中よりさす

ら光は師のちとる

このあきける
水くま

このあきける
まじりし

出たあきける
仰きあきける
今更人今息今嫌方
の都をまじりし

このあきける
まじりし

光は

光は

麻布日下窪

仰きまゝに
今更人令息令嫌
今更人令息令嫌
今更人令息令嫌

二十五年

骨

諸先生

讀書

麻布日下窪
大内青密殿



六月十七日

